

わくわく！ドキドキ！サバイバル体験

ふりかえりシート

「2日間の体験で感じたこと」

氏 名	感 じ た こ と
1 班 岡部 美紀	さいしょはお母さんに、行きなさい。と言われて、なんとなくいやだったけど、行ってみると楽しくて、またこういうのがあったら、行ってみたい。みんなでごはんを作ったりするのが面白かった。夜は、ぜんぜんねむれなくて、夜の1時までねれなくて、みんなでいろんなお話をしてすごかったのしかった。地しんのこととかよくわかった。
1 班 柘植 祐希	<カンパン>たべる前までは、たべたことがないからどういう物だろうと思ってた。たべてみたら、けっこうおいしかった (いけるゼィ)。 <ねた事>ねる前は、なんかう〜れ〜し〜い〜な〜と思っていました。そしたら、きたいどおり友達と小さな声で布団の中でおしゃべりをして、1時ごろまで友だちといろいろしたら、友だちがおこしてネといって、ねてしまったのです。それで約束の時間がきたのでおこしました。だけど、何回おこしてもぜんぜんおきませんでした。なので、あきらめました。 <明日からの目標>いつもフエなどをもちあるく。
1 班 坂本 いわお	米がかたかったごはんがおいしかった。こわい話がおもしろかった。ねるときカーテンをしめる。
1 班 池本 聖	ごはんがおいしかった。ねるとき楽しかった。せいりせいとん。
1 班 山崎 雅彦	いろいろ体験しておもしろかった。ねる時に遊んでいて楽しかった。地しんのことがよくわかった。ねる所に重い物をおかない。1ばんは、おもしろかった。
1 班 佐々木 慎	<8/3>地しんの事が良くわかり、じしんがおきたられいせいに行動して、自動はんばいきなど、たおれてくるもの近くによらない。 <8/4>まどが大きいと、地しんに弱い家という事がわかった。ダンスにつっぱりぼうをつける。
1 班 二宮 孝介	<8/3>地しんのことや東山の歴史、非常用道具で必要なものをポスターセッションで表したりした。それから老人たちに非常用道具を発表したあと、ご飯を食べてねた。 <8/4>おきてラジオ体操をし、カンパンを食べて地しんについてやりあぶないところをポスターセッションで発表した。 <明日からできる防災>寝る時はカーテンをしめる。
1 班 片岡 貴大	<8/3>ごはんはかたかった。川のことがわかった。地しんのことがわかった。 <8/4>カンパンがいろいろなもので食べれることがわかった。 ふえをおく。ぼうさいずきんをおく。

氏 名	感 じ た こ と
1 班 加藤 時生	地しんの事や東山学区の歴史のことでちょっと話が長かったけど、とてもびっくりした。ごはんは、だいふぼさばさだった。 ひじょうもちだしぶくろをげんかんにおいておく。
2 班 勇士 杏子	非常持出ぶくろにあんなにたくさんいるものがあるとは、知らなかった。地しんが来るとは知っていたけど、どれくらいのひがいがあるかどうかわからなくて、この体験をしてからだいたいわかるようになりました。
2 班 塩川 晴香	最初はやっていけるのか不安だったけど、やっているうちに、各班のリーダーの人とかとも楽しく遊んだりできました！ <ほのぼのあかり>地いきのみなさんとみんなで、ほのぼのあかりを作っているうちに地いきのみなさんとも仲良く話し合いしながらできました！
2 班 野々山 亜季	今までは、じしんなどはこないだろうと思っていて、何もじゅんぴ(とか)していなかったけど、じしんやひなんのことを聞いて、家にもあぶないところがあるから気をつけようと思った。ひなんのじゅんぴもしておこうと思った。 ほのぼのあかりをつくるのがおもしろかった。あかりをつけたときに、ちゃんとできてよかったと思った。とても楽しかったので、家でもつくろうと思った。
2 班 牧山 愛	この体験に参加する前は「地しんがくる」と言われていても、「どうしよう」と思うだけで、色々な対策などはしていなかったけれど、この体験を通して『地しん』は本当にこわいものだとし強く感じました。家に帰ったら、この体験で学んだことをいかし、家族と話して、それをじっこうしていこうと思いました。 地しんについて、私は少し知っていたけれど、この体験で地しんのひがいがすごく、少しの対策をするだけで、まったくのひがいをあたえないことを知れて良かったです。
2 班 しおかわ けんたろう	じしんはじしんたいさくをすればぜんぜんこわくない。じしんでいえはあんまりくずれていないが、となりからなどの火がうつってしまって、にげられなかった人がおおかった。
2 班 柄沢 晃宏	地震が起きた時はおちついて行動をすれば助かる。いろいろな災害が地震によって起こっても近所の人と協力すれば助かる。
2 班 山本 隼輔	地しんはこわくない。地しんが起きたときにれいせいになればたすかる。
2 班 早川 翔	きちんとじしんよぼうをすればじしんなんかこわくないってことがわかった(ほんとうは、じしんがいや。あたりまえ!) じしんのしんどは、さいこう7度になることがわかった。

氏 名	感 じ た こ と
3班 山田 晃弘	サバイバル体験は、いままでしなかったことをたくさんおしえてもらってよかったです。昔の歴史をおしえてもらったとき日本は、昔と今とではぜんぜんちがっていろいろわかった。あと、地しんのこわさや、地しんたいさくをおしえてもらってよかったです。かんぱんやコンソメスープの中にかんぱんのこまかいやつを入れてたべたりしてたのしかったです。みんなとたのしくできてすごかったのしかったです。ねるときも友達といっしょにラジオや、話をしてたのしかったです。
3班 亀山 拓哉	地しんの学習がえいぞうでとてもわかりやすく学べた。東山のれきしも学んだ。夜にカッキーや友だちとした、こわい話もちっとさむくなったけどおもしろかった。ごはんをたいて、切って、もりつけてくばって、ふりかけをもらったり、みんなでたべておいしかった。ジャムをつけたかんぱんもおいしい、コンソメスープでふやふやになったかんぱんはふのようだった。
3班 山田 泰弘	おもったよりかんぱんはまずかった。昔の東山の学校は1かいだけだったから学習できた。
3班 伊藤 千映	今まで、東海大地しんがおきたら、助からないだろうなと思っていたけど、家具を固定したり、非常ぶくろを用意することで、地しんがおこっても助かるということがわかった。又、東山学区の歴史も、おどろくことがいっぱいあった。
3班 赤塚 夕紀	20年～40年ぐらいの時の東山小の生徒の人数は、2000人ぐらいだったので「そんなにいたなんて！」と思ってびっくりした。1年生が象に乗っていたから、ずるい！と思った。夜にトランプをやったり、TVを見たりして楽しかった。
3班 坂口 七夏	2日間の体験で、じしんの防災のためにすることの中で、特に感じたこと（というよりおどろいたこと）は、同じしん度でも、固定をしないとしないでは全然家の中がちがうことです。あんなに何もおこらなかったかのようになるとは、想像以上でした。なのでわたしも固定とかしといたほうがいいなと思いました。
3班 外輪 凡	じしんのがよくわかったので、これからたいさくで、できることがあれば、やった方がいいと思った。もし、本当にじしんが起ったら、あせらずに地いきの人とたすけ合わないと思った。
4班 上沢 佑花	ごはんをみんなで作って食べるのが楽しかった。夜による時ちょっとこわかったけど、いい体験ができた。発表もたくさんできてうれしかった。また、さんかしたいと思った。地しんたいさくや地しんに強い家の事がわかってよかった。カンパンの食べ方やアイデアがわかってうれしかった。昔の人にいろんな話をおしえてもらってよくわかった。家に帰ったら、2日勉強した事をおしえてあげてやってみたいと思った。夜のトイレはちょっとこわかった。ものすごく楽しかった。

氏 名	感 じ た こ と
4 班 熊谷 直哉	じしんのおそろしさが改めてわかった。じしんはいつくるかわからないのでいつもじしん対さくをいつもしておくといいいことがわかった。じしんがきてもあせらずに行動したした方がいい。非常食なのにおいしく、いっぱい食べれた。自分のねるところにあぶない物がいっぱいあった。
4 班 牧山 ひかり	本当ににげるときの体けんとにてることをしたから、いつも食べるごはんとちよっとちがう物を食べることがわかった。夜なかなかねむれなかった。あかりをつけたとき、きれいだった。ちょうど4年で火事などの勉強をしていてくわしく火事などのことがわかった。食事を作る時見てるだけで楽しかった。
4 班 加藤 野乃花	お米があんまりおいしくなかった。体育館でねたけどあまりよくなかった。発表がいやだった。カンパンがあんまりおいしくなかった。ねむかった。
4 班 斉藤 開	ひじょう食はみんなで作っておいしかった。ねるときものすごく暑く少ししかねれなかった。かんぱんはジャムを付けるとおいしかった。じしんはしんど5をこえるとこわい。
4 班 中山 直哉	地しんはこわい。ひじょうしょくでもおいしい。ひじょう食はかんたんに行ける。ねごこちがわるかった。カンパンはパンと全くちがった。
5 班 山村 謙太郎	じしんがおきたときに大きい物につぶされてこえがでないとき、ふえをもっていればたすけをよべて、いつじしんがおきるかわかんないから、よういはちゃんとしておかなきゃいけないことがわかった。
5 班 佐々木 聖	じしんはすごくこわいけど、せいりなどできることがたくさんあった。かんぱんはおいしかったけど、すぐにおなかがいっぱいになった。
5 班 高橋 慧多	たきだし体験の自分たちで作った、みそしるがおいしかった。カンにあなをあけるのが楽しかった。ひじょう食のカンパンがけっこうおいしかったので、びっくりした。じしんの仕組が、けっこうよくわかったのでよかった。じしんってけっこうこわいなあと思った。
5 班 島田 菜央	<勉強したこと>いろんなことがわかった。地しんについて、いろんなことが学べて楽しかった。いろんなことをしないといけないと思った。(勉強してから)家が、すごくきけんだったと思った。いろんなお話しが聞けてよかった。 <その他>みそしるを作る時たまねぎを切る時、なみだが出てきたけど、とっても楽しかった。ねる時全然ねられなさそうだったけど、ねられてよかった。ラジオ体そうも、楽しかった。 <全たいで>思ってたより、けっこう楽しかった。

氏 名	感 じ た こ と
5 班 安藤 鈴	夕食とかのりようが少なくて、もっと食べたいな~と思った。 <今日帰ってスグできること>もち出しぶくろのチェック。
5 班 稲田 まき	わたしのしらなかったことが、たったの2日間で、いろいろわかりました。いえでも、また、いろいろ調べてわかったことを、私の友だちや先生に言いたいです。どうも、ありがとうございました。
5 班 吉田 光輝	カンパンがいがいいにおいしかった。たき出し体験で火をおこすのと、カンに穴をあけるのと、オノでまきをわったのがおもしろかった。
5 班 布村 彩花	もちろん、体育館にとまる事は、はじめてだったから、どんなかんじかわかりませんでした。とくにおもしろかったなと思った事は、自分たちで野菜をきっていわれて、うれしかったです。PTAの人が、切り方をおしえてもらったので、とてもうまく切れました。大学生のおにいさんにおしえてもらった事は、わすれないようにしたいです。サバイバルたいけん、おもしろかったです。2日目も、PTAの人のげき、おもしろかったです。またあったらきたいです。
6 班 波多野 正匡	この初めてのサバイバル体験をしてとても勉強になりました。地震の歴史のことも、加藤さんにおしえてもらってどうして地震がおこるのかもおしえてもらったしブルルくんというきかいで家がたおれにくいようになるほうほうや地震の時にかつやくするきかい（電気をてらす）こともしってうれしいです。たのしかったことはじぶんたちでみそしるをつくってたべたことです。とってもおいしかたです。自分の救急バックのこともいろいろかんがえてよかったいろいろな人とであえてよかったし、たけぼんもいろいろおしえてくれたのでよかったです。とってもたのしかったです。
6 班 小松 祐輔	地しんのことでサバイバルにきて、ひじょうもち出しぶくろの発表をしたり、みんなでみそしるやごはんをつくったり、加藤さんの地しんの話などして、夜はみんなとねるし、あついし、東山小で初めてねるので、あんまりねむれなくて、2日目は、カンパンのおいしい食べ方があって、ジャムをつけるのがいちばんおいしかったです。あと地しんたいさくの発表などがありました。PTAの人たちもげきもやってくれたから、地しんのこともとてもよく分かりました。
6 班 加藤 健介	夕食を作る時に、なかなか上手に玉ねぎを切ることができなかったけど、どうにかおいしく出来ました。また加藤さんに東山の歴史を初めて聞いた時にこんなことがあったんだと感動してしまいました。2日目に『ぶるる君』という機械で実験をした時に、どういうふうにすれば、家がくずれないかということを知りました。カンパンの試食でカンパンはおいしかったです。また、コンソメスープもおいしかったです。このような体験ができて、とてもいい思い出になったと思います。

氏 名	感 じ た こ と
6 班 山田 杏奈	たのしかったことは、地しんの発表です。かみにかいてはったりして発表して、しっぱいしたこともあったけど、たのしかったです。かんぱんもすごくおいしかったです。
6 班 小出 夕貴	料理でわからないことをPTA、地元の人たちがいろんな切り方を教えてくれたので少しおぼえたと思う。夜10時にはみんなころがってたけど、私は友達とこわい話をしていました。とても楽しかった。
6 班 三坂 洋太朗	ゆう食でみそしるをつくってたのしかった。あじみしてみたらおいしかった。

氏 名	感 じ た こ と
1 班 小松 みどり	家の非常持ち出し袋の中身を見直す。良い機会になりました。今回新しく教えていただいた物（ラップ e t c）も追加して作り直したいと思います。子供達が積極的に色々な意見を出しあっている姿がとても良かったです。子供なりに防災に関心を持ち、真剣に考えていることがわかりました。
2 班 岩田 二郎	身边に危険な個所が沢山有ることを痛感した。 最初にタンス、テレビ、本棚を固定する。
2 班 石黒 徹	先ずやれることからやる。非常持出の整備、町内会防災役割分担の確認、家具の配置・固定の再チェック。
2 班 森田 理恵	子供達が、思ったよりもよく考え、動いていました。ただ、大人の数が多すぎて、困ってしまうこともありました。2日目のように別メニューも良いかと思います。タイムスケジュールが、意外にもぴったりとはこび、食事の準備は間に合うのか不安でしたがばっちりでした。スタッフの方々、お疲れ様でした。
3 班 加藤 信二	いつやって来るか判らない災害の為に常日頃からこの様な準備、訓練が必要だと痛感しました。
3 班 加藤 滋	子供達に地震に対する、いろんな知識・体験ができ意義ある催しと思う。 大人について大勢の人を対象にこの様な催しも必要と感じている。
3 班 佐々木 裕子	1日目の炊き出しは、火をおこす事から野菜切り、配膳、食事迄スムーズに出来たので、本当に震災が来た時も皆が協力して出来ると良いと思いました。学区の歴史のお話も興味深くお聞きしました（子供も真面目に聞いていたので、良かったです）。カンパンの揚げた物がコンソメスープとあっていておいしかったです。
3 班 水崎 洋	子供達ともっと交流しながらの行事かと思っていた。いろいろ災害時を想定しての2日間の体験だったが、実際に災害になってない現在でも、まとまりのない事、担当者の言う事が全員に伝わりにくいなど、実際に災害にあった時の事が思いやられる。まだまだ町民の訓練・意識の向上が必要だ。
3 班 不明	町内会で防災に対し話し合い、役割りを決める事。町内会全員で体験も良いと思う。
4 班 神谷 由美	2日目から参加したので参加したので、あまりわかりませんが、朝食のカンパンが意外とおいしくいただきました。地域での防災対策を細かい単位で行った方が良かったと思いました。 町内会で具体的な備蓄などの話し合いが必要。

氏 名	感 じ た こ と
4 班 臼井 さゆり	<1 日目>加藤さんの講演がよかった。土器が発掘されたことが始めてわかった。ごはんはかわいていたので、食べにくかった。 <2 日目>カンパンを久しぶりに食べた。カンパンにも色々な食べ方があるということがおどろきだった。防災に対して皆さんより意見が聞けて思ってもいなかったことが聞けてよかった。 なるべく地域で、となり同志でふだんつきあいを良くしておく、いざという時お互いに助けあえると思うので、近所の人々となるべく交流しておいた方が良いと思います。防災リュックをもう一度見直したいと思います。
4 班 柄沢 裕美	この体験に参加させていただくにあたり、わが家の非常持出袋の中身を改めて見直すことができました。いろいろ新たに備えなくてはと反省いたしました。息子と共に参加しましたが、みんなでたきだしをしたり、貴重な話を学区の方から聞くことができたりと、とても有意義な経験をさせていただきました。 今日子供たちが発表したことを家で実践できるよう、すぐに防災対策をしたいと思っています。スタッフの皆様、お疲れ様でございました。
4 班 岩田 正弘	1. 防災の必要性を感じた。 ① 家内での家具固定 ②町内での連絡方法 ③防災器具の点検 これらの事を今日から見直し、1 つずつやってゆこうと思っている。
4 班 木股 知宥	子供達に自覚させた事はとてもよい。防災用品をしっかりと準備する。防災袋の置き場所を考える。防災についての話しを家族で話し合う。町内会議で話しをする。防災袋の中をときどき調べる。
4 班 加藤 茂 (70才)	ボランティアのリーダーさんにはご苦労さまでした。ただし、内容的にはあまり効果がなかったように思える。これも今は危険意識がないので無理かも知れない。子供たちにずれがあるように感じた。
4 班 加藤 工明	初めて参加させて頂き、なかなか小学生の方と会ふ事が少なく、自分の子供同様、久しぶりに会話が出来、小学生はそれなりの防災に関して色々発表し、大人の経験話を話す時間が若い人々に、自分なりの事も伝わり、若い人に防災体験者として話す時間が有り、又、私自身が色々体験出来、有意義ある2日間でした。ほんとうにありがとうございます。
5 班 水谷 時夫	いろいろとかんがえる事あり。今後とも心にとめておきたいと思っています。
5 班 水谷 保子	子供たちが持ってきた非常持出袋を参考にしながら、自分の子供の非常持出袋を備えなくてはいけないと思った。

氏 名	感 じ た こ と
6 班 浅田 晃生	<地震対策>安全性の確認、必要をあらためて思った。
6 班 服部 行成	1. 地震は恐ろしいが実際には人間の無力さの方が実感である。 2. 色々と対策はあるけれど矢張りその時の立場・状況に左右されるので、運命論者のようになってしまう。起こらないことを祈るのみ。 3. しかしボランティアの皆様の熱心な姿を見るとこういう活動を粘り強く続けていくのが大切なんだろうなあとは強く感じます。しかしこの「体験」の帰りみちに大地震があるかもしれないし。もし災害が発生し生命があったら一生懸命出来ることをします。
6 班 田中 佐貴江	子どもたちが持ち出し袋、自分の寝ている部屋のことを考え、対策等話し合う時、よく考え積極的に意見を出し合い、良い話し合いになり、とても良かったと思います。我が家では食器戸棚につっぱり棒、フィルムが貼ってある程度なので、子ども達の出し合っていた考え、栗田さんのお話をもとに我が家を見直し、実際に対策を行っていきたいと思います。 炊き出しも子どもたちそれぞれできる範囲で力を出し合い協力し合って良い経験ができました。 ほのぼのあかりは大変参考になりました。
鹿子町	2日目早朝からお世話になりました。カンパンは揚げたものが大変香ばしくおいしかった。コンソメスープとカンパンの組み合わせはお腹に満足感があり、カンパンがやわらかくなりよかったと思う。
無記名	1. 子供達の防災意識が高まったと思う。 2. 地域での防災活動の協力が必要と感じた。
無記名	新聞等でよく見、関心を持つが、実際に子供達と共により考える一時が持て、有意義でした。自分の子又地域の連帯の大切さを感じました。大学のお兄さんお姉さんのお力に感謝し、より一層話題性を持ちいざの時に役立つ自分を今一度考えたい。いい企画をして頂いた関係者の皆様に拍手、御苦労様でした。
日和東班 赤司	屋内の家具等の固定状況を確認し、自分達の命を守れる程度の補強など実施する。すぐ逃げることが出来る環境を作っておく。 e x . 物を必要以上に置かない。 落ちてくる様な物はあらかじめ、固定するか取りのぞいておく。 連絡がとりあえる様な人間関係を作る。